

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13

目黒さつきビル3階

TEL 03-6303-9134 FAX 5487-7844

Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 木下 和樹  
編集人 高山 浩

2018年

8月1日

第401号



# JR東海労

http://www.geocities.jp/jrroukairou/

## 全地本で新3役体制を確立!

### 4地本定期大会が成功裡に終わる

4地本は、6〜7月にかけてそれぞれ定期大会を開催しました。全地本で3役全員が新役員となり、新役員体制を支えて闘うことが確認されました。

#### 新幹線地本 第24回定期大会



新幹線地本は6月23日、中小企業センターで第24回定期大会を開催しました。

冒頭、6月9日に発生した「のぞみ265号」殺傷事件で犠牲になられた乗客のご冥福をお祈りし、全員で黙祷を捧げました。議長団に三浦(東一運分会)・山口(東京車両所分会)両代議員を選出しました。

成田委員長は、挨拶で「本部大会で新体制が確立された。職場においては少数ではあるが、どういふ組織体制を構築するか、私たち自身の手で切り拓こう。年休裁判、診断書都労委は勝利すると思うが、この闘いを通じて組織強化・拡大を勝ち取る。改憲に向けた動きが活発になつていく。労働組合が大衆と共に

に闘う存在でなければならぬ。JR総連運動の再生のために、自らの置かれた所で労働者的に闘おう」と訴えました。

質疑では代議員13名全員から、新幹線車内業務見直しの闘い、不当なポーンスカット撤回や年休失効を許さないための闘い、更衣時間を勝ち取る闘い、「のぞみ34号」事故をはじめとする安全確保の闘い、アルコール検査における不当な扱いについて、今後の組織展望を見据えた闘いなど、力強い発言がありました。

杉沢書記長は「森下さんの更衣時間を労働時間にさせるための闘いでは、一人でも役所を動かす。会社を戦々恐々とさせた。智恵を出せば闘いは広がる。『のぞみ265号』事件で、会社の対

#### 静岡地本 第29回定期大会



策は何も対策になつていない。不審者を改札から入れさせない対策が必要

だ」と総括答弁を行いました。

静岡地本は7月11日、静岡労政会館で第29回定期大会を開催しました。総会形式として初となる大会で、議長に木下副委員長を選出しました。

植松委員長は、挨拶で「地本は、創意工夫した組織運営に努め『仲間のために、組織のために』を各々考え実践してきた。富士登山、駅無人化反対のビラ配布行動、掲示物不当撤去事件の最高裁判と集会の開催、運転士情報端末タブレットの問題における名古屋地本との合同会議と中部運輸局への要請行動、出向会社新生テクノスとの2回目の団体交渉、診断書強要に対する闘い、更衣時間を労働時間にさせる闘いなど、自信をもって闘ってきた。これからも

闘おう」と訴えました。

質疑では、「要員不足で年休が出ず失効の危機にある状況を打開しなければならぬ」「出向会社との団体交渉を2回開催した。大きな意味がある」「専任社員の他労組組合員は異動があった。専任社員は居住地から近い職場に戻す闘いを行っていかねければならぬ」などの意見をはじめ、安全に関わる発言も出されました。

半場書記長は「掲示物不当撤去事件が最高裁勝利した。年休裁判へと繋がっていく。更衣時間の問題で、浜松労基署が浜松運輸区に入り、他労組組合員から大きな関心が寄せられている。診断書強要に対する闘いで、地本全組合員を対象にした『意思統一の集会』は成功した」と総括答弁を行いました。

闘おう」と訴えました。

『9条連ニュース』No.282に元原発労働者A氏の投稿が掲載された。A氏は浜岡原発などで働き、友人のB氏も同職場で働いていた。仕事は、低レベル放射性物質をドラム缶に詰める作業。A氏は会社を辞めた5年後くらいから体に異変を感じ、検査した結果大腸がんで、胃にも悪性ポリープが発見された。A氏は入院・手術を行い、10年経った現在も生存している。しかし、B氏は悪性リンパ腫を患い他界した。▼放射性物質つまり原発での作業が原因で命を落とす人は、まだまだたくさんいるだろう。「原発関連で死者はいない」などと言う評論家や、それを平然と雑誌などで取り上げる出版社がある。放射性物質と癌との因果関係は無いと反論し、そこを掘りどころにするだろう。原子力村や原発推進派、特に政府がこれを認めたから、原子力政策そのものが破綻する。だから、口が裂けてもYESとは言わない▼しかし、原発や放射性物質による死者はいないと信じる人たちがいることは事実である。私たち労働者や一般市民は、デマを見抜かなければならない。特定の雑誌などを一方的に信用し、他の意見に耳を傾けないようにしなければならぬ。



# 名古屋地本 第28回定期大会



名古屋地本は6月24日、金山「ワークライフプラザ れあろ」で第28回定期大会を開催しました。議長に名古屋運輸区分会・太田さんを選出しました。

山田委員長は「本年は人事の年であり8年間委員長を務めてきたが、今回で新たな委員長にバトンタッチしていきたい。今大会で勝ち取るべき課題として、年休完全取得の闘い、組織強化・拡大、平和を守る闘い等を中心に取り組んでいく」と挨拶を行いました。

質疑では「汽笛亭廃止に伴う出向先について、

他労組組合員との差別がされ問題である」「高齢者の行路をつくるべき」「休日も増やすべき」「アルコール検査で基準値にかかった人への処分はやめるべき」「車掌の新型車携機は性能が悪く問題」「タブレットは使い勝手が非常に悪い」「運転情報記録データを使つた面談は問題である」「新幹線で殺傷事件が発生したが、在来線、特にワンマンではどう対処するのか、会社に指導をさせるべき」などの意見が出されました。

としてはいけない」「組合員が出向に多く出ている。組織体制について議論を行う」「ボーナスカット裁判で、闘いを通じた成果を確認する。年休裁判を共に闘うために、職場での調査活動などを展開している」「のぞみ265号」殺傷事件で面談が行われている。装備品を見ると犯人と戦えと言わなければならない。しっかりと申し入れを行う」「故有村さんの徳ぶ会を12月に行う」などの意見が出されました。

荻野書記長は「年齢的な限界を気力で補い、持てる力を出し切り、更に組織の強化と拡大のために奮闘しよう」と総括答弁を行いました。

畑野書記長は「自然に無力な人間が自然を破壊する行為、それが戦争でありリニア建設である。自然災害から謙虚に学ばなければならない。『のぞみ34号』事故、『のぞみ265号』事件などにおいて、私たちにとつての安全問題とは何かを捉え返す必要がある」と総括答弁を行いました。

# 新幹線関西地本 第24回定期大会



新幹線関西地本は7月8日、「UMEDIA大阪」で第24回定期大会を開催しました。議長団に湊(大阪交番検査車両所分会)、鈴木(名古屋車

両所分会) 両代議員を選出しました。

小林委員長は、挨拶で「会社は過去の事故・事件を何ら教訓化してこなかったため、考えられな

い事故・事件を発生させた。私たちは、いかにこれらと向き合うか考えなければならぬ。憲法9条改悪にNO!を突きつける仲間を一人でも拡大しよう。現実を知り、デマに騙されず、真実を見極める努力をしよう」と訴えました。そして、JR東海労働運動を共に闘い、6月末で退職した小林書記への感謝を述べました。

質疑では、『のぞみ34号』事故で会社はJR西日本やメーカーに責任転嫁している。検査周期延長には反対である。JR東海組の問題を他人事

『東京地区分会情報』No.238より抜粋  
社内誌『JR東海7月号』

「当社は、中央新幹線を自己負担で建設する方針であり、大阪開業まで含めた総工事費9兆円は、東海道新幹線と在来線、関連事業などの既存事業を中心とした収益によつて賄うことになりま

## 各地本2018年度役員体制

役 職	新幹線地本	静岡地本	名古屋地本	新幹線関西地本
執行委員長	杉澤 秀 則	半 場 弘 恭	荻 野 隆 一	畑 野 浩 孝
執行副委員長	小林 正 明	八 木 雅 之	山 田 哲 也	三 田 憲 一
〃	土 川 節 夫	木 下 孝 尚	丹 羽 成 生	小 林 國 博
〃		植 松 昌 彦	上 田 和 宏	柳 楽 関
〃		渡 辺 和 仁		
書 記 長	伊 藤 一 也	渡 辺 靖 之	御 辺 尚 久	浦 谷 幸 二
執 行 委 員	小 林 昇	伏 見 和 幹	小 屋 敷 治 行	森 永 益 充
〃	田 村 浩 彰	北 原 幹 也	越 坂 武	笹 田 伸 治
〃	安 久 沢 雅 行	曾 布 川 忠 宏	中 山 喜 弘	下 茂 春 美
〃	木 藤 純 宏	宮 澤 克 明	堀 部 肇	島 津 力
〃	劔 持 善 昭	岩 本 久	今 井 一 夫	王 丸 恭 市
〃	庭 山 義 輝		鈴 木 一 幸	渡 邊 幹 夫
〃				宮 内 省 吾
〃				多 田 一 夫
会 計 監 査 員	木 村 孝 夫	土 屋 正 安	中 山 孝 宏	竹 本 真 一
〃	野 口 康 夫	高 科 陸 治	寺 倉 浩 仁	筵 島 和 彦

※地本大会の役員改選による中央本部執行副委員長の変更  
静岡地本は半場弘恭、新幹線関西地本は畑野浩孝に変更

※中央本部特別執行委員の指定(第2回中央執行委員会で確認)  
小林光昭(新幹線地本)

## お知らせ 小林由美さん慰労会(仮称)

日 時：8月25日13時30分  
場 所：大阪コロナホテル(新大阪駅すぐ)  
会 費：組合員¥6,000 O B ¥5,000



みなさん、  
ぜひ来て下さい